



第七卷 第四號

所 館 和 行 書 良 所 會 社 刊 行 人 所 資 道 方 城 村 公 民 館 編 集 刊 行 所 資 道 方 城 村 公 民 館 編 集 刊 行 所 資 道 方 城 村 公 民 館 編 集 刊 行 所 資 道

婦人と選挙権

選挙委員長

高津久雄

四月は全く選挙の月であった。選挙の準備が始まって、選挙に終わったと云つてよい程である。臨時選挙人名簿の作成、衆議院議員立候補者の立会演説会の開催、之に前後して公明選挙の啓蒙宣伝、棄権防止の督促等々、相当に煩張り纏げた。中選挙の前日及び当日は投票並に、伊方小学校の放送施設を利用して午前、午後に亘り、有権者に或は訴へ、或は協力を求めた。然るにも拘らず投票率は四月十九日執行の衆議院議員の選挙が有権者八、二二名、投票者七、一〇五名、七、二四一名で八九・一%。四月二十四日の参議院議員の選挙が有権者八、二九名、投票者七、一〇五名で八七・四%と云う投票成績に終わった。

此の事実は婦人の参政権獲得を意味付けるものであると共に、又婦人の地位の向上を裏証するものとして喜んでよいと思ふ。だが婦人が真実政治を理解し、選挙の意義を知する等、政治に対する知識の向上が、其の存在を認識せしめて来たこと云うのでなく、婦人はだまし易いとか、薄いか頼みやすいとか、立候補者の誰れ彼の別なくたやすく、票が貰へるとか云うのであれば、之は考えねばならぬ重大なることであると云うのだ。

「生活に明日からひびくこの一票一だいたい選挙は在民主権の立場に於て、民衆が直接政治に参与する唯一の途であることは論をまたない。民主政治の最高の目標とする所は、一般国民の生活を豊かにし、生活を安定させることだからねばならぬ。

い。随つて国民に重税を課するの結果となる。再準備の問題や、国民の福祉増進を前提とする社会保障制度の問題等が国会の重要案件として取上げられることは勿論のことと思はれるが、国民大衆の生活に、直接につながる問題が政治の争点として国民関心の下にもつと、論議されても良いと思ふ。国民大衆の生活に直接関連を持つ、即ち国民の日常生活に於て身近かに感ずる主食の値段の問題や、電燈料金の問題や、汽車賃の値上げ問題等が国民の深い関心を前に、政治問題として展開されることになつてこそ政治家も真剣に国民のための政治を論じなければならぬことになる。此処に於て初めて一票が生活に響く貴重な一票となり、又吾等の日常生活と政治とのつながりが結ばれて来る。

今日の事態はどうか。主食の値段が上つても、電燈料金が上つても、汽車賃が上げられても、結局は役所の天下り案がそのまま実施されることとなり、国民の立場に於ては之に對し不平を云うと言ふよりも、むしろ已むを得ぬものとして見のがされてゐるのではあるまいか。或る書物に依ると英国ではだいぶん様子が違つてゐる。国民の台所に直接響くような問題は政治家が徹底的に究明するし、又究明しないような政治家は、民衆から

見難される。二十七年三月、パトラ一相が作成した新しい耐乏政策の予算案が財政専門家の間で議論されたことは云うまでもないが、其の耐乏政策の中に盛り込まれた、パンの値上げ問題が全国民の間でとりわけ婦人の間で白熱的に討論されたこと云うことである。さすがは民主政治の国だと考へられる。

家庭の主婦が政治や経済の動きに全く無関心であつた為、講演者の口車に乗つて不用の手紙をあつて、沢山買ひ込み、店の者を驚かしたと云うナンセンスが方城村にもあつたと聞いている。

今度の選挙に於ける方城村の婦人の投票率は決して男子のそれに劣つていないが、選挙すればいい、無暗な新しい選挙権の分野としての婦人票が、菓子袋一個で気安く、せしめられたり、情美で軽く扱はれるが如きことはありもしないが、婦人の名誉の為に断じてあつてはならないことである。

公民館研究大会を省みて

公民館係

五月十八日公民館及丸山公民館共催したが、此の大会動機は分館長会議において、今後の分館活動も如何

に推進すれば効果があるか云う、愛村精神の興隆の結果のもとに本大会を、開催する運びとなつた。幸にして各関係者の公民館活動に対して理解ある考えに依つて、会は盛大に開会され、県社会教育課下川先生の臨席を仰ぎ、丸山分館各位の献身的行為と来賓各位の熱心なる研究態度に依つて、終始静謐、厳正にして盛會裡に会を有意義ならしめた。左に大要について述ぶ。

一、館長挨拶

公民館活動は成人教育である、住みよい村造りのため分館活動の重要性。

二、教育委員長村田挨拶

教育委員会の公民館活動に対する全面的協力について述ぶ。

三、丸山分館長の運営概要について

戸数四〇戸、人口、四〇〇名の当分館は中等教育を受けた者が少いので、公民館活動と現代の時局に對処すべく、少年教育が必要なので之に重点をおく、裏付として予算が伴うので

先づ産業部(農村)の活動、其の

他各部毎の活動について概要を述べ、特に本年度より食生活の合理化に重点をおく。

四、産業部発表

五、少年部発表

六、青年部発表

七、婦人部発表

八、下川先生の講話

九、公民館活動の重要性

公民館は成人を教育するところである。

二、従来社会教育は講義式であつて一つの方便に過ぎなかつた。

三、現在の社会教育は自主生活を目的として経済(生活)を豊かにするにある。

四、社会教育の定義として

一、生活の必要を充たす。

五、公民としての権利を公使出来る様便宜を計る。

六、公民としての心構を教える。

七、生活の安定(調理)を計る。

八、公民館の性格として、文化的施設を持つこと。

九、各専門の能力の發揮されて、始めて公民館活動の發展があり

公民館主事の計画如何によつて教育が變る。着村一致している公民館で成績も良い。



一〇、全体討議

分科会で討議された問題を司会者によつて発表。

一一、分館長部発表

一、分館長は各部より出されたる